

日本地理学会2023年春季学術大会 シンポジウムS2 (公開)

関東大震災から百年

あらためて何を学び
「地理総合」でいかに教えるか

日時 2023年3月25日 (土) 13:00-16:30
会場 日本地理学会2023年春季学術大会第7会場
(東京都立大学南大沢キャンパス11号館2階204室)
主催 日本地理学会災害対応委員会
オーガナイザー 鈴木康弘・宇根 寛・田中 靖

どなたでも
参加できます

会員・非会員を問わず
原則として事前参加登録を
お願いします(学会HPより)

- 13:00-13:05 シンポジウムの趣旨 鈴木康弘(名古屋大学) ほか
- 13:05-13:55 〔基調講演〕 関東大震災を今に伝えるー災害と復興、そして現在の備えは?ー 武村雅之(名古屋大学)
- 13:55-14:15 首都圏の震災調査に関する地理学者の貢献 熊木洋太(専修大学)
- 14:15-14:35 首都直下地震と災害リスク評価
ー被害想定と地域危険度によるリスクの見える化ー
中林一樹(東京都立大学名誉教授)
- 14:35-14:55 首都圏の活断層と地震防災の課題
渡辺満久(東洋大学)
- 14:55-15:15 震災と首都機能移転論
ーレジリエントな持続発展型
国土構造構築のためにー
戸所 隆(高崎経済大学名誉教授)
- 15:15-15:35 自然災害伝承碑の取組と利活用
門脇利広(国土地理院)

(休憩15:35-15:45)

- 15:45-16:25 総合討論
コメント
地理総合の理念と関東大震災の位置づけ
井田仁康(筑波大学)
都市周辺における土砂災害の視点
八反地 剛(筑波大学)
- 16:25-16:30 閉会挨拶 宇根 寛

公益社団法人日本地理学会事務局 <https://www.ajg.or.jp/>
E-mail office@ajg.or.jp TEL 03-3815-1912 FAX 03-3815-1672



地理院地図に掲載されている自然災害伝承碑



東京都慰霊堂